

**株式会社ビーエスピー
(JASDAQ 3800)**

2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年11月8日

- 1 2014年3月期 第2四半期
連結決算の概要**
- 2 2014年3月期 重点施策と進捗**

2014年3月期 第2四半期 連結決算の概要



BSPグループはITシステム運用を支えている人達を応援します。

➤ 事業環境

- ・ 産業界全般にわたる企業のITシステム投資の回復
- ・ 企業内プライベートクラウド環境構築の動きが活発化
- ・ 新システム構築やBCPといったテーマでの継続的な投資

➤ 業績ハイライト

売上高 2,279百万円 前年同期比で+14.8%

上場来最高に。プロダクト事業、メインフレーム事業が好調

営業利益 812百万円 前年同期比で+53.3%

プロダクト事業、メインフレーム事業の増収効果に加え、
プロダクト事業の採算性改善、経費削減等により増益

第2四半期連結業績

➤ 累計連結損益計算書（前年同期比）

売上高 前年同期比 **+14.8%**

上場来最高に。プロダクト事業、メインフレーム事業が牽引し増収

販管費 前年同期比 **▲6.0%**

研究開発費の減少による

営業利益 前年同期比 **+53.3%**

プロダクト事業、メインフレーム事業の増収効果+プロダクト事業の採算性改善、経費削減等により増益

（単位：百万円）

区分	2013年3月期 2Q		2014年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	1,985	100.0%	2,279	100.0%	+293	+14.8%
売上原価	133	6.7%	224	9.9%	+91	+68.5%
売上総利益	1,851	93.3%	2,054	90.1%	+202	+10.9%
販売費及び一般管理費	1,322	66.6%	1,242	54.5%	▲79	▲6.0%
営業利益	529	26.7%	812	35.6%	+282	+53.3%
経常利益	548	27.6%	843	37.0%	+295	+54.0%
四半期純利益	358	18.1%	504	22.1%	+145	+40.7%

第2四半期連結業績

➤ 累計連結損益計算書（予想比）

- ・ 売上高は、ほぼ期初予想通り推移
- ・ 利益面は、プロダクト事業の収益性改善、メインフレーム事業の好調を受け予算を上回る

（単位：百万円）

区分	2014年3月期	2Q予想	2014年3月期	2Q実績	予想対比	
売上高	2,220	100.0%	2,279	100.0%	+59	+2.7%
売上原価	200	9.0%	224	9.9%	+24	+12.4%
売上総利益	2,020	91.0%	2,054	90.1%	+34	+1.7%
販売費及び一般管理費	1,300	58.6%	1,242	54.5%	▲57	▲4.4%
営業利益	720	32.4%	812	35.6%	+92	+12.8%
経常利益	750	33.8%	843	37.0%	+93	+12.5%
四半期純利益	470	21.2%	504	22.1%	+34	+7.3%

第2四半期連結業績

➤ 連結事業別セグメント

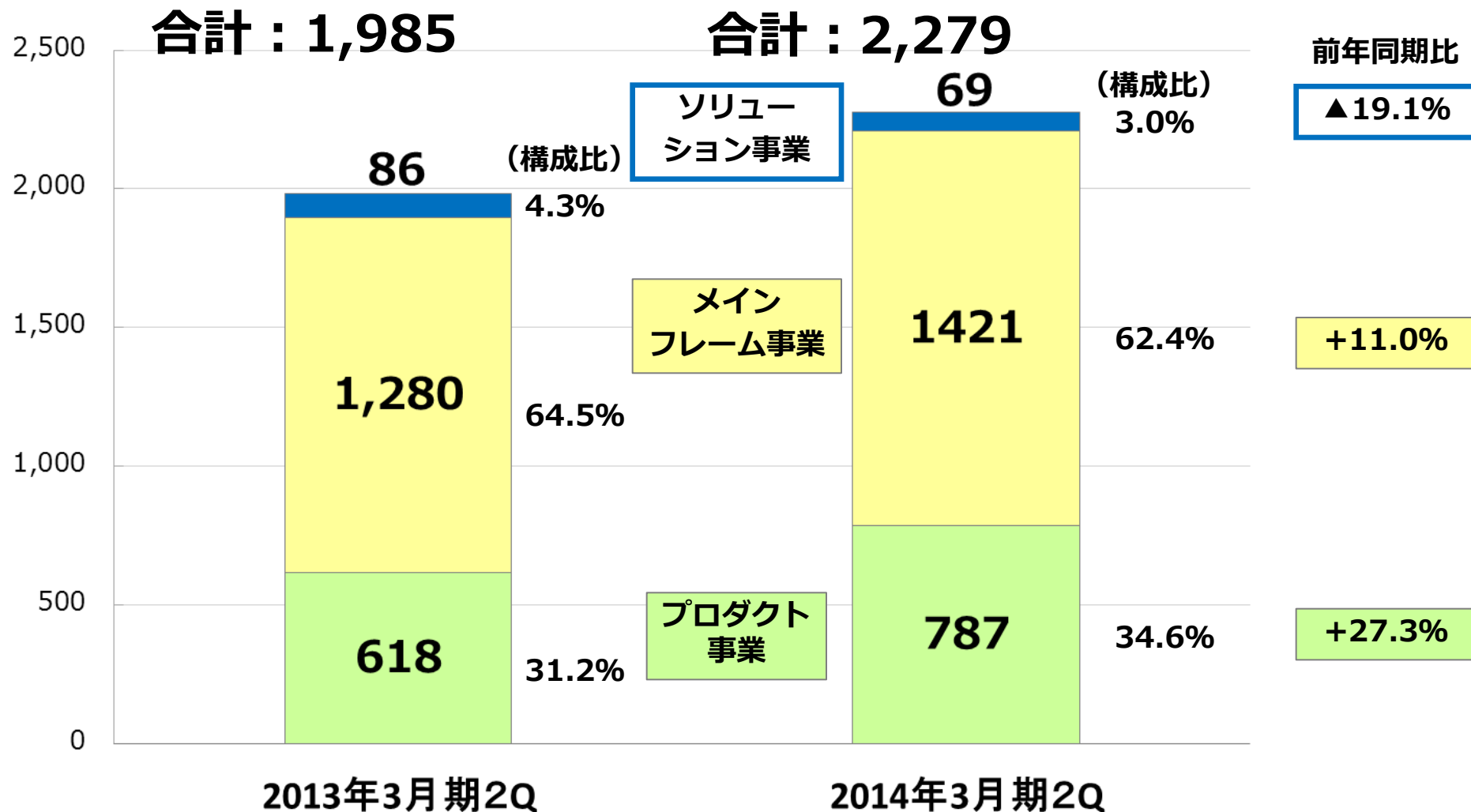
(単位：百万円)

区分	2013年3月期 2Q		2014年3月期 2Q		前年同期比	
売上高	1,985	100.0%	2,279	100.0%	+293	+14.8%
プロダクト事業	618	31.2%	787	34.6%	+169	+27.3%
メインフレーム事業	1,280	64.5%	1,421	62.4%	+141	+11.0%
ソリューション事業	86	4.3%	69	3.0%	▲16	▲19.1%
営業利益	529	100.0%	812	100.0%	+282	+53.3%
プロダクト事業	▲321	-	▲234	-	+87	-
メインフレーム事業	931	-	1,082	-	+150	+16.2%
ソリューション事業	▲0	-	2	-	+3	-
営業利益率	26.7%	-	35.6%	-	+8.9%	-

第2四半期連結業績

➤ 連結売上高比較（セグメント別）

（単位：百万円）

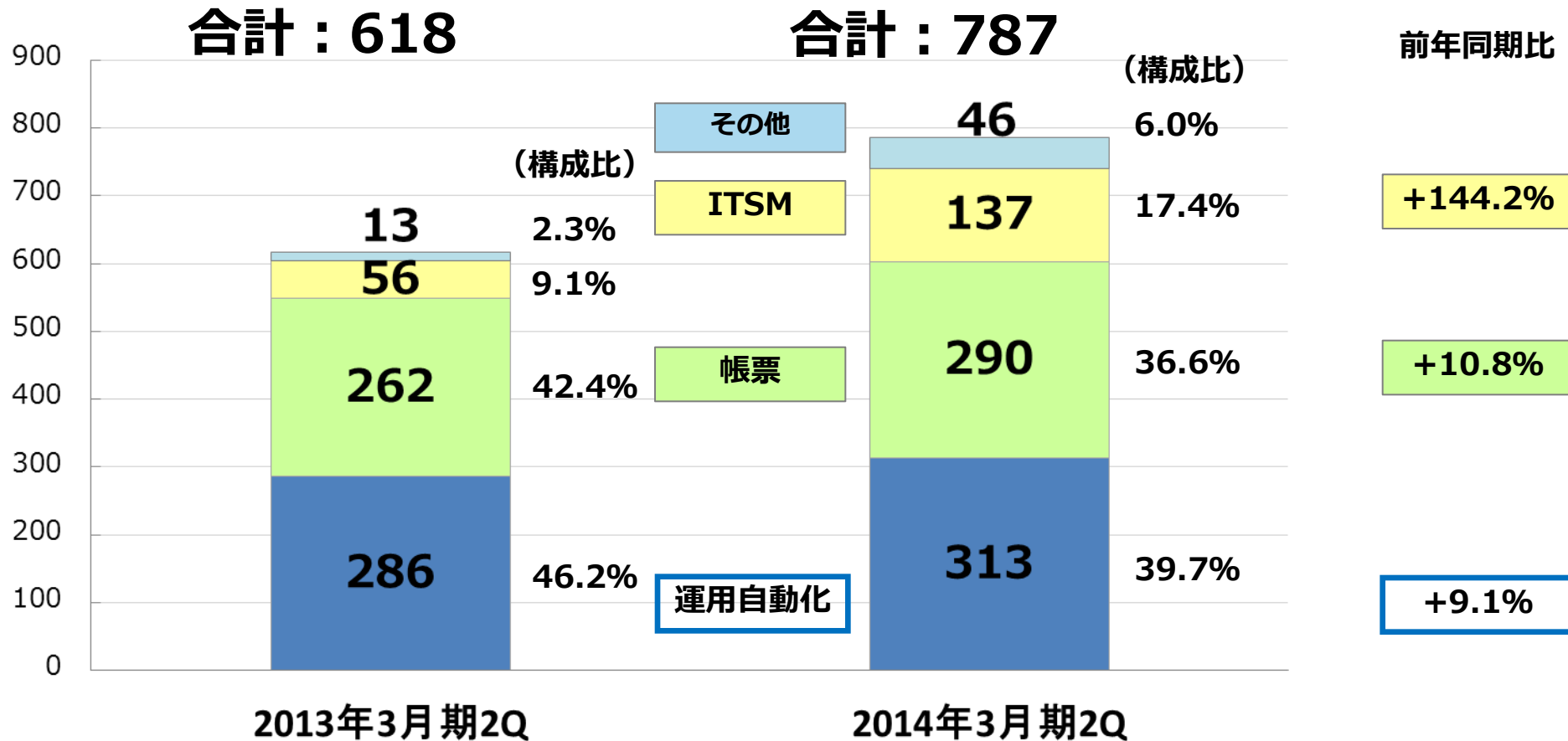


第2四半期連結業績

➤ 連結売上高比較（領域別）

プロダクト事業内訳

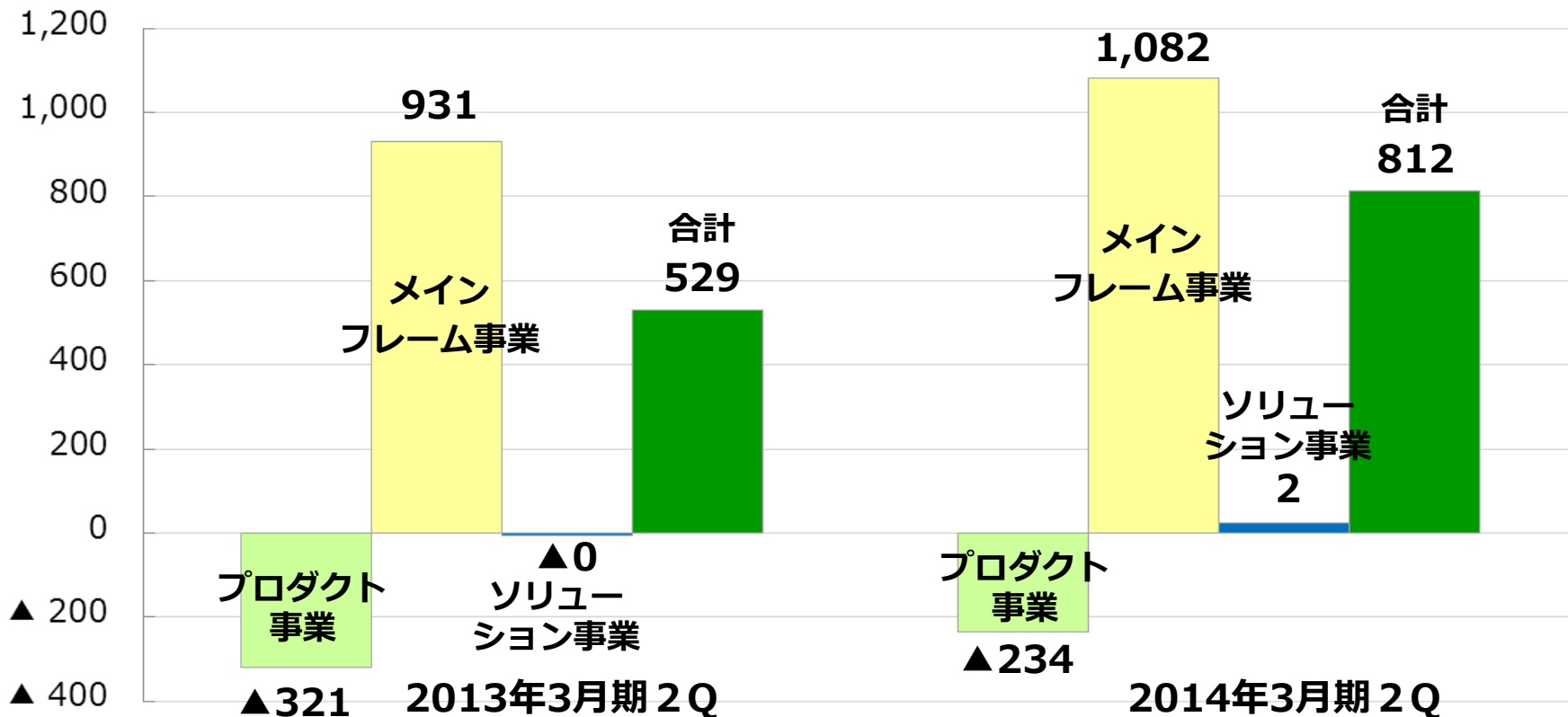
（単位：百万円）



第2四半期連結業績

➤ 連結営業利益のセグメント別比較

(単位：百万円)



第2四半期連結業績

➤ 連結売上高の内訳（セグメント別）

（単位：百万円）

		2013年3月期 2Q実績	2014年3月期 2Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率
プロダクト事業	製品	181	272	+90	+49.6%
	技術支援	129	176	+46	+36.0%
	保守料	306	339	+32	+10.5%
	小計	618	787	+169	+27.3%
メインフレーム事業	製品	196	367	+170	+86.4%
	技術支援	33	34	+0	+2.8%
	保守料	1,049	1,019	▲ 29	▲ 2.9%
	小計	1,280	1,421	+141	+11.0%
ソリューション事業		86	69	▲ 16	▲ 19.1%
合計		1,985	2,279	+293	+14.8%

連結貸借対照表

➤ 連結貸借対照表（前期末比較）

（単位：百万円）

	2013年 3月期末	2013年 9月期末	増減額		2013年 3月期末	2013年 9月期末	増減額
（資産の部）				（負債の部）			
流動資産合計	6,295	6,816	+520	流動負債合計	1,000	1,121	+121
固定資産				固定負債合計	35	31	▲ 4
有形固定資産	68	75	+7	負債合計	1,035	1,153	+117
無形固定資産	66	43	▲ 22	（純資産の部）			
ソフトウェア	64	41	▲ 22	株主資本合計	6,992	7,366	+373
その他	1	1	±0	自己株式	▲ 309	▲ 309	▲ 0
投資その他	1,639	1,620	▲ 19	その他の包括利益 累計額合計	41	35	▲ 6
固定資産合計	1,774	1,739	▲ 35	純資産合計	7,034	7,402	+367
資産合計	8,070	8,555	+485	負債純資産合計	8,070	8,555	+485

連結キャッシュ・フロー計算書

➤ 連結キャッシュ・フロー計算書（前年同期比）

（単位：百万円）

	2013年3月期 2Q実績	2014年3月期 2Q実績	比較 増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	242	863	+620
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 540	▲ 29	+510
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 112	▲ 131	▲ 19
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲0	2	+2
現金及び現金と同等物の増減額（▲は減少）	▲ 409	705	+1,114
現金及び現金同等物の期首残高	4,919	4,308	▲ 611
現金及び現金同等物の期末残高	4,509	5,013	+503

2014年3月期重点施策と進捗



BSPグループはITシステム運用を支えている人達を応援します。

2014年3月期重点施策と進捗

中期経営計画2年目目標の達成

基本方針

- ・ 新規事業の早期立ち上げ
- ・ 組織の若返り
- ・ 既存ビジネスの再成長・再構築

お客様の期待を上回る製品・サービスのご提供



- ・ 運用レス2.0に則ったソリューションの提供、実装化
- ・ プロダクト販売型からサービス提供型へ

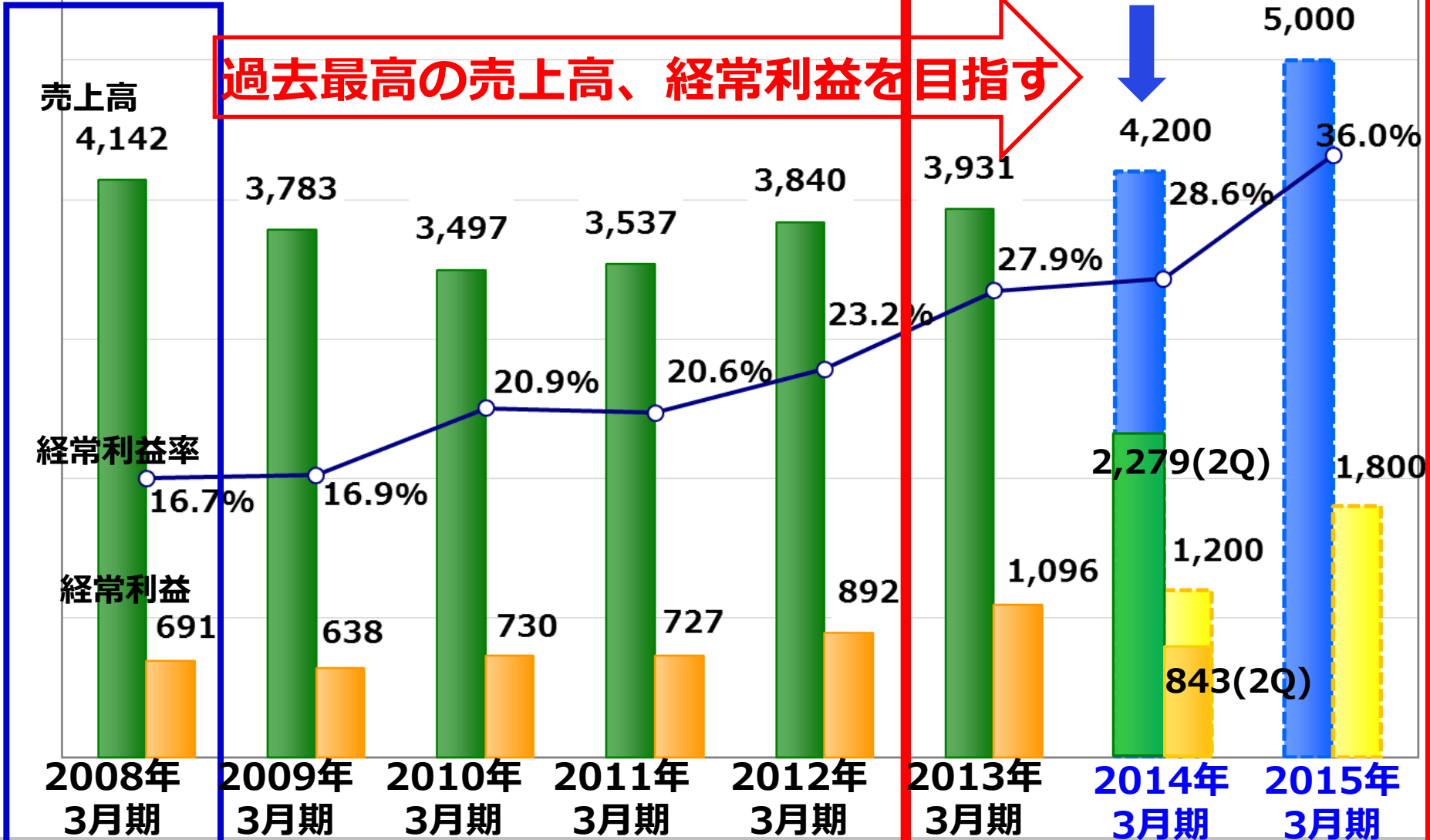
中期経営計画（サマリー）

（単位：百万円）

過去最高

中期経営計画

過去最高の売上高、経常利益を目指す



中期経営計画（サマリー）

（単位：百万円）

		2013年 3月期実績	2014年 3月期計画	2015年 3月期計画
売上	計画	3,931	4,200	5,000
	前期比	2.3%	6.8%	19.0%
経常 利益	計画	1,096	1,200	1,800
	前期比	22.9%	9.4%	50.0%
経常利益率		27.9%	28.6%	36.0%



今期業績予想と同一

中期経営計画（セグメント別）

（単位：百万円）

		2013年 3月期実績	2014年 3月期計画	2015年 3月期計画
プロダクト 事業	売上高	1,345	1,810	2,970
	前期比	7.5%	34.5%	64.1%
	営業利益	△502	△290	520
メインフレーム 事業	売上高	2,410	2,160	1,730
	前期比	2.0%	△10.4%	△19.9%
	営業利益	1,731	1,427	1,230
ソリューション 事業	売上高	175	230	300
	前期比	△22.2%	31.0%	30.4%
	営業利益	5	23	40

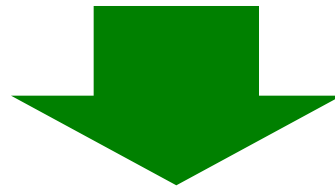


今期業績予想と同一

【キーワード】

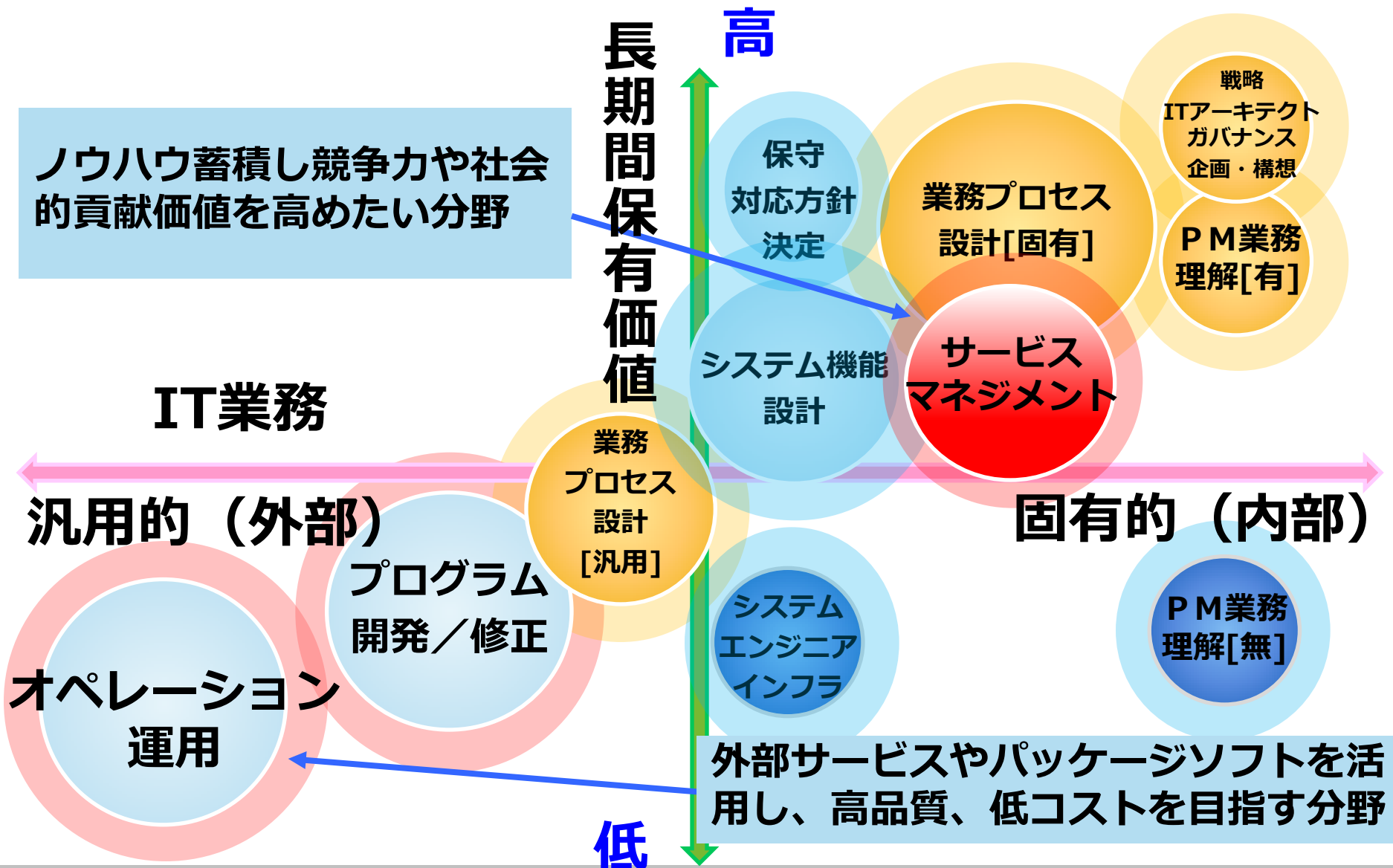
「運用レス」

運用レス化する事で、単純な維持管理から脱却し、ビジネスに貢献できる組織に転換していくための継続的な活動のメソドロジ



ITシステム部門は、企業価値を創出する
ITサービス提供部門へ

お客様（IT部門）の業務価値分析



お客様（IT部門）の業務価値分析

企業価値を高めるソリューション
サービスを提供！

ASMO

LMIS on cloud



Training

長期間保有価値

高

保守
対応方針
決定

業務プロセス
設計[固有]

戦略
ITアーキテク
ガバナンス
構想
企業
M業務
理解[有]

サービス
マネジメント

システム機能
設計

IT業務

汎用的（外部）

固有的（内部）

業務
プロセス
設計
[汎用]

プログラム
開発/修正

システム
エンジニア
インフラ

PM業務
理解[無]

オペレーション
運用

高品質で低コストのサービスを
提供！

Be.Cloud

運用BPO

A-AUTO

DURL

BSP-RM

低

ITサービスの業務価値分析

テクニカル・アプローチ



マネジメント・アプローチ



IT部門のあるべき姿

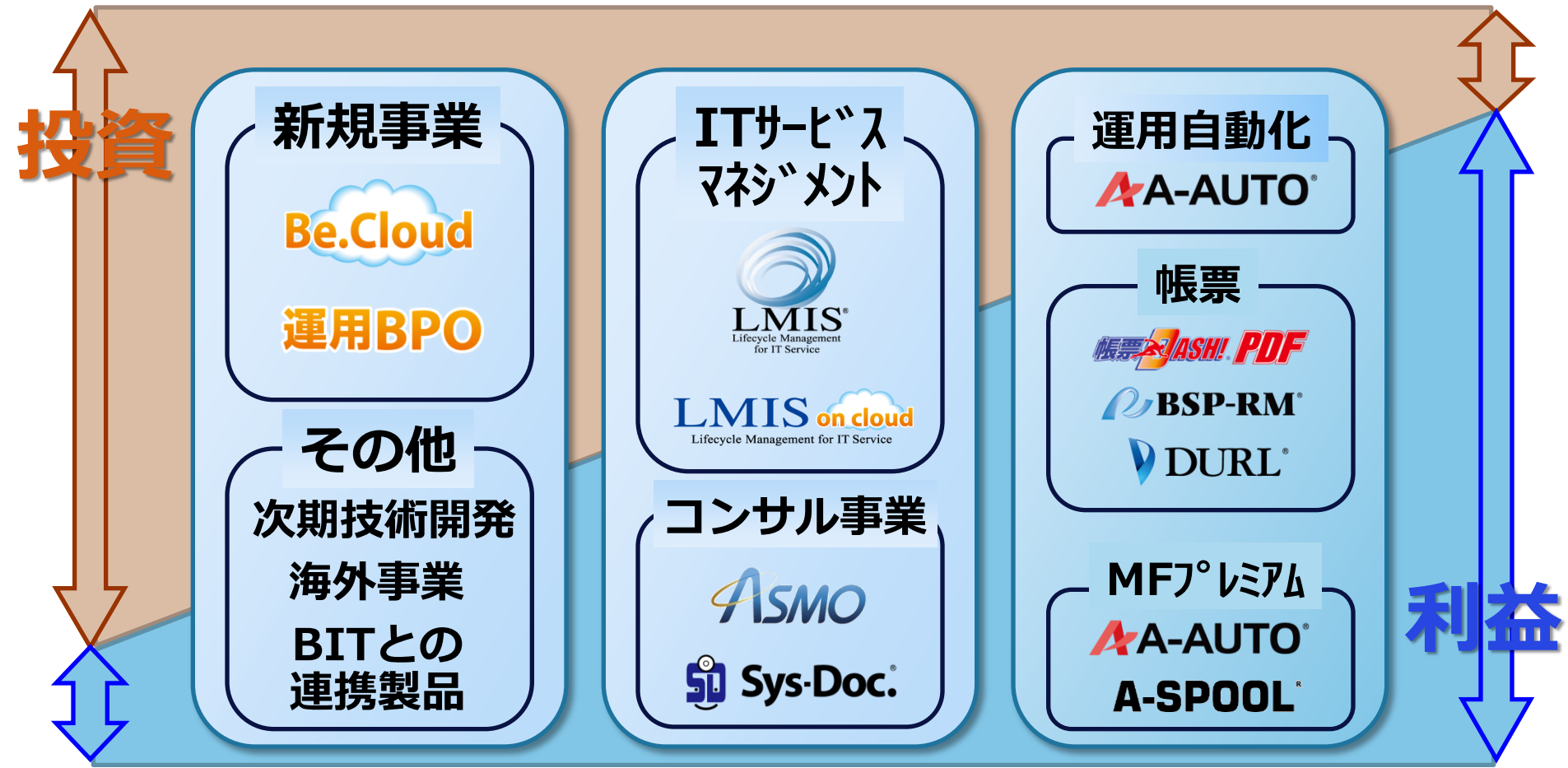
事業貢献に加え、企業価値の
創出を実現するITサービスを
提供する部門へ

運用レス2.0のソリューション

投資

成長・拡大

成熟・再成長



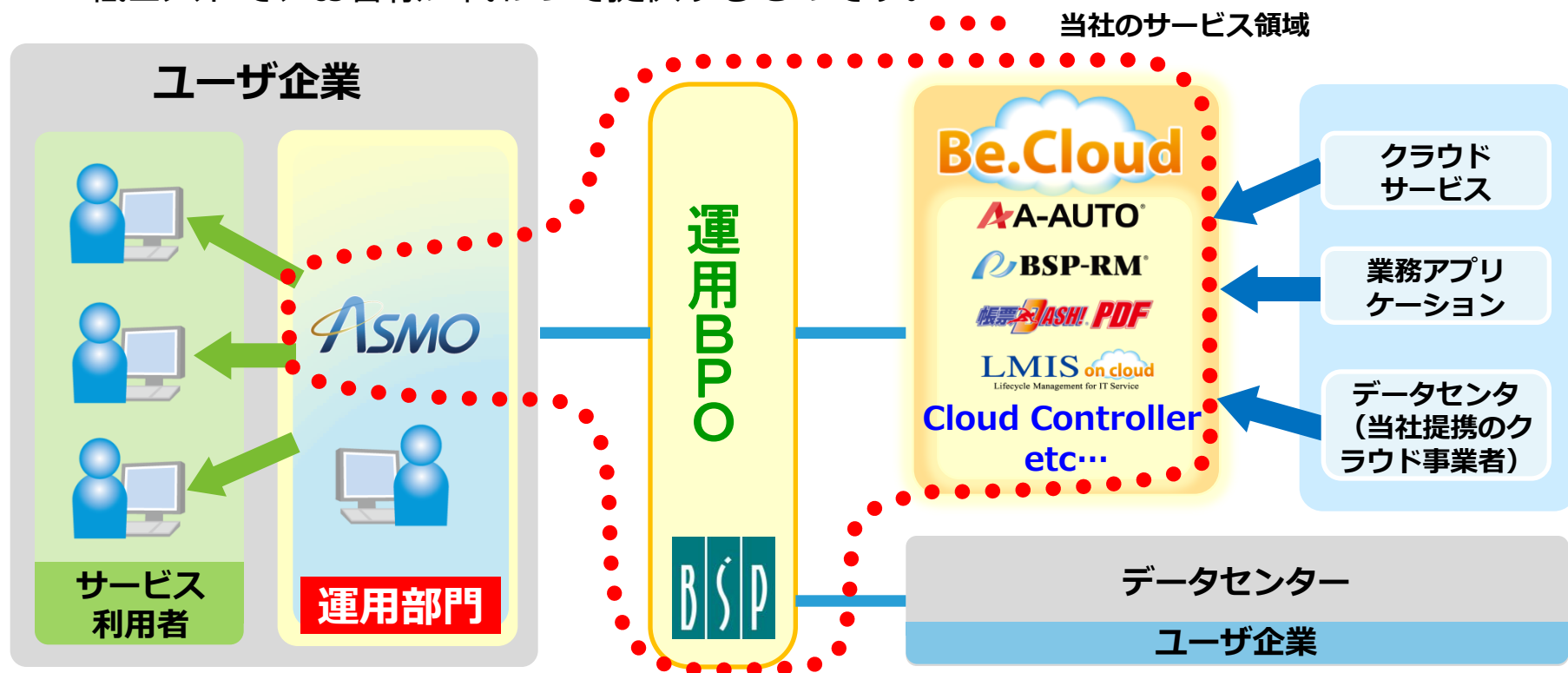
運用レス2.0 「新規事業」

「Be.Cloud」とは？

お客様のIT環境において、お客様が必要なおきに必要な分の当社サービス（導入支援、業務支援、クラウド選択、PaaS選択）をご利用いただけるものです。クラウドコントローラ機能により、お客様は、複数のクラウドインフラとサービスの調達・管理をストレスなく行うことができます。

「運用BPO」とは？

お客様のIT部門の汎用的な運用業務を当社の製品ノウハウを用いて、高品質かつ低コストで、お客様に代わって提供するものです。



業績予想

(単位：百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	対前期比
売上高	3,931	4,200	+268(+6.8%)
営業利益	1,074	1,160	+85(+8.0%)
経常利益 (経常利益率)	1,096 (27.9%)	1,200 (28.6%)	+103(+9.4%) (+0.7ポイント)
当期純利益	709	750	+40(+5.7%)
1株当たり配当額	61.00円	60.00円	2013年3月期は 記念配当5円
配当性向	33.7%	31.3%	—

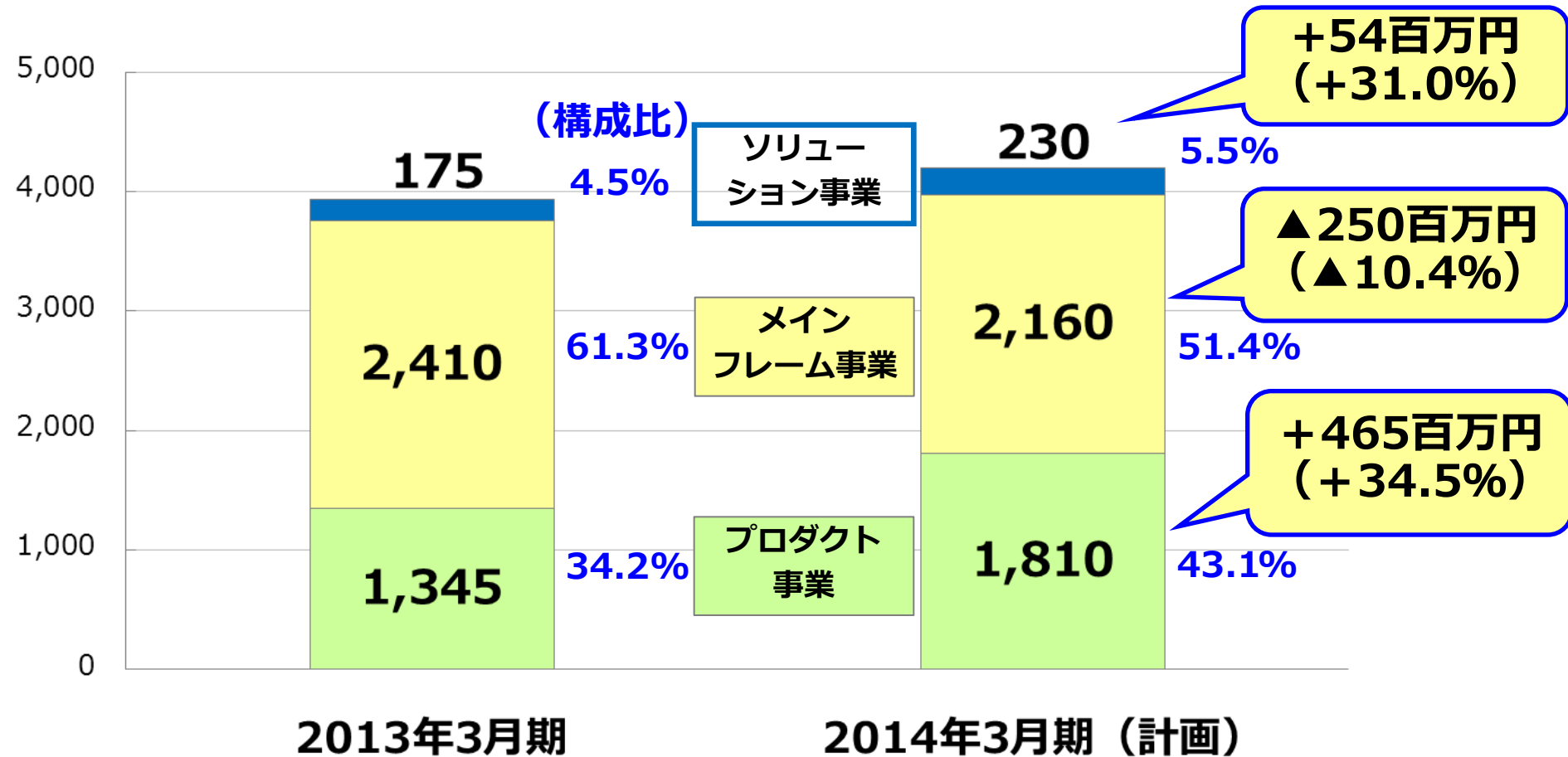
業績予想売上高の内訳

合計：3,931

合計：4,200

(百万円)

<対前期比>



配当の推移（連結）

➤ 配当の基本方針

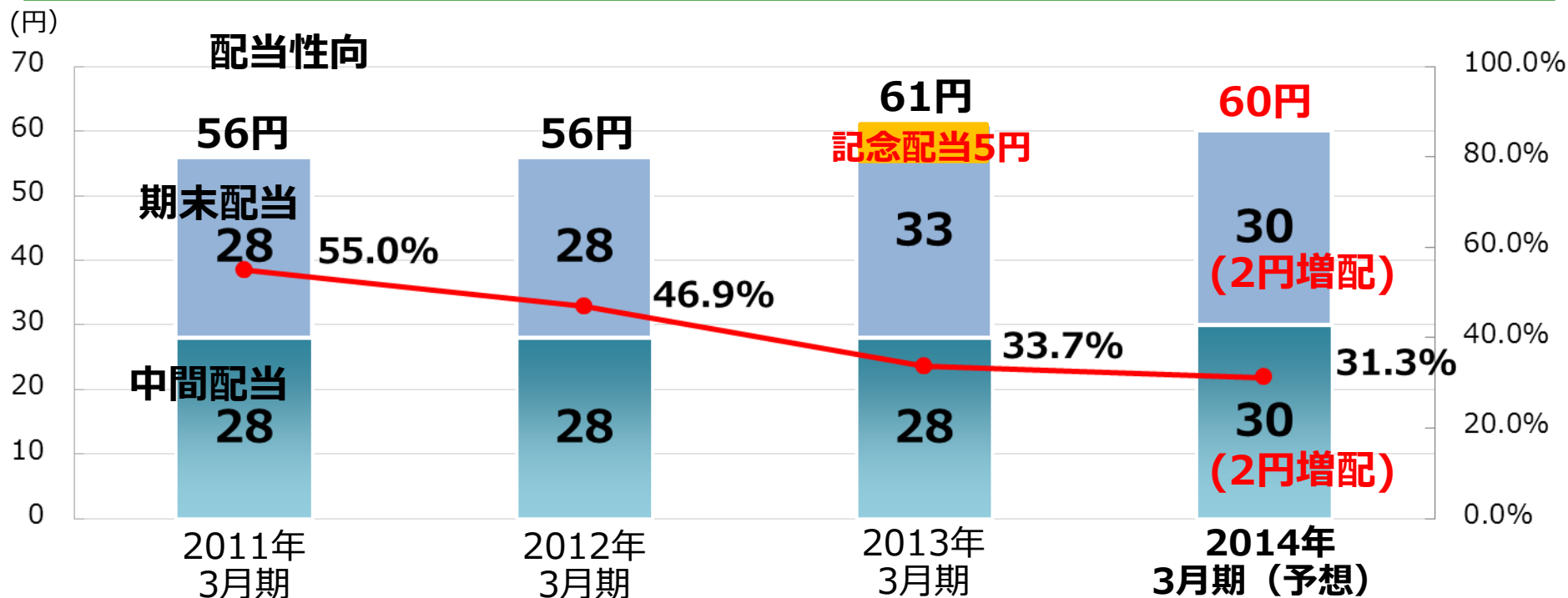
- ・ 長期にわたり安定的な配当を行う
- ・ 連結配当性向30%以上を目処

➤ 1株当たり年間配当金

＜2013年3月期＞
 中間28円＋
 期末33円（普通配当28円、記念配当5円）

中間+2円
 期末+2円

＜2014年3月期＞
 中間30円＋
 期末30円（予想）



株主様向けアンケート結果

2013年6月、株主様向けアンケートより（年1回継続実施）

返信率：26.8%、497通（総株主数：1,854名）

自由記述欄へのコメント数：242通

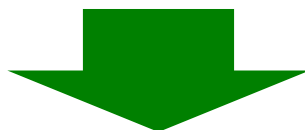
いただいたご意見、ご要望より

➤ 株主還元、株主優待

- ・株主優待制度を導入して、株式の長期保有を促してはどうか。（30代男性）
- ・堅実な経営と安定配当を期待。（60代男性）
- ・増配希望。（60代女性）
- ・継続的な自社株買い、消却の実施を望む。（30代男性）

➤ 会社への期待

- ・株式分割できるくらい、業績を伸ばしてほしい。（60代男性）
- ・長期保有なので、成長戦略を実行してもらいたい。（60代男性）
- ・株式の流動性を上げるべく、努めてください。（40代男性）



株主様のお声を経営に活かしてまいります

【お問合せ先】

(株)ビーエスピー

広報IR室

TEL : 03-5463-6384

FAX : 03-5463-6392

HP: <http://www.bsp.jp>

mailto:ir_info@bsp.co.jp

-
- 1)本資料は、当社の決算概要および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり投資勧誘を目的として作成したものではありません。
 - 2)本資料に記載の情報は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。
 - 3)本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ビーエスピーに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。
-